

# WAGOMI TOWN TOPICS

あなたの身近な話題をお知らせください。

問い合わせ先 総務課 企画室 広報担当まで (内線 208)

## もぐら打ち!!

1月14日(木)神尾保育園の運動場から「ねぎだね、こぎだね、13日のもぐら打ち!!」と園児の元気な掛け声が聞こえてきました。

13日は積雪のため14日にもぐら打ちを行いました。このもぐら打ちの棒は平大和さん(野田)の手作りで50本寄贈されたものです。子どもたちは力いっぱい地面をたたき掛け声をかける姿がとっても可愛く、またたくましく感じられました。

このもぐら打ちは、もともと田畑を荒らすモグラの害を防ぐために、ワラを巻いた棒で地面を叩いてまわる行事だったようですが、現在は商売繁盛、新築のお宅の繁栄、子供の生まれた家の

の無病息災などの祈願として行われています。

庭の柿の木が折れ、もぐら打ちの棒をかけておくと豊作になるとい言い伝えもあるそうです。



▲年長さんのもぐら打ちの様子



▲2歳児さんも上手です

## 九州地区体育指導委員功労者表彰

1月30日(土)大分県別府市で九州地区体育指導委員研究大会が開催され、北原正司さん(下平野)が九州地区体育指導委員功労者表彰を受賞されました。

北原さんは、町の体育指導

委員を平成2年4月に任命され、今年で20年目を迎えられます。日頃から地域のスポーツ振興に貢献されてきた活動が認められて今回の表彰となりました。

これからもますますのご活躍を願っています。おめでとうございます。



▲九州体指功労者表彰

## 第34回玉名駅伝大会

1月17日(日)和水町体育館をスタート・ゴールに『第34回玉名駅伝大会』が開催され、玉名郡4町と玉名市から5チームの計9チームが全10区間41.5kmのコースで健脚を競い合いました。

和水町チームは、2区でトップになるとその後は2位との差を大きく広げて優勝し、見事4連覇を果たしました。

沿道からのたくさんの声援のおかげで、選手たちが自分の力を十分に発揮できた結果だと思えます。応援をいただいた町民の皆さん、本当にありがとうございました。

なお、成績は右記のとおりです。

### 《成績》

優勝 和水町  
準優勝 玉名市玉名中  
3位 玉東町

### 《和水町出場選手》

監督 杉本章一(萩原)  
マネージャー 荒木拓馬(上岩)  
1区 高木祐作(竜門)  
2区 ◎仙頭ゆかり(上十町)  
3区 ◎豊後拓也(大屋)  
4区 ◎吉野太樹(上久井原)  
5区 ◎池田貴則(立石)  
6区 ◎丸橋梨紗(中十町)  
7区 霧 邦広(和仁)  
8区 ◎池田達哉(立石)  
9区 霧 智成(和仁)  
10区 ◎東 瑞樹(馬場)

※◎区間賞

### 《最優秀選手賞》

和水町 仙頭ゆかり(上十町)



## 募金しなっせ!(募金ボタンが付いた自動販売機)

1月25日、エイティー九州株式会社から社会福祉協議会へ金一封の寄付がありました。

企業内に設置してある自動販売機に「募金」の「10円」「100円」のボタンがあり、そのボタンを押すと自動的に募金することができるシステムです。また、赤い羽根共同募金と売り上げの一部も併せて寄付されました。

エイティー九州株式会社は南関町の下坂下であり、鑄造から加工までの一貫生産を行っておられ、得意先や地域から信頼されている企業です。

今回は2周年を記念し高須社長作詞作曲による社歌を作成され、「今後も鑄造ラインを

拡大して行きたい」と話されていました。



▲募金機能がついている自動販売機



▲高須社長が寄付されました

## 文化財を火災から守ろう!

1月31日(日)に肥後民家村の旧布施家で防火訓練が行われました。これは、昭和24年1月26日に法隆寺金堂の壁画が火災により消失したことをきっかけに始められた文化財防火デーの一環として行ったものです。

当日は、あいにくの小雨でしたが、玉名消防署和水菊水分署の隊員や消防団幹部と第1分団の団員、肥後民家村管理人や工房の森の人たちなど約90人が参加しました。

訓練は、旧布施家で火災が発生したという想定で行われ、参加者は、きびきびとした動作で消火作業に取り組み、その後、分署員の講

評があり、引き続き消火器を使った初期消火の仕方を学びました。

訓練終了後、館内放送施設など防災設備についての説明があり、工房の森の人たちは、真剣に聞いていました。



▲消火訓練



▲放水の様子

## 「江田船山古墳一帯」を「江田船山古墳公園」でPRしていきます。

今年度、和水町では豊かな自然、先人達が残した歴史、文化などを最大限に生かし、観光をまちづくりの柱の1つとして確立させるための取組みを具体化した「観光によるまちづくり推進計画(仮称)」を策定しています。

その中のひとつとして、和水町の観光拠点として考えられる江田船山古墳一帯をPRするための総称についても検討してきました。

江田船山古墳一帯には、菊水ロマン館、菊水カヌー館、肥後民家村、肥後古代の森、江田川水辺公園及び菊池川河川広場などがあり、総称として、江田船山古墳一帯、万世の都、風土記の丘など、さまざまな名称で呼ばれています。

そこで、これら一帯を全国的にも知られている国指定史跡江田船山古墳を全面に打ち出した「江田船山古墳公園」という名称とし、町の観光拠点としてPRを図っていくこととして計画しています。

熊本県内では、来年3月の九州新幹線全線開業に向け、さまざまな取組みが行われています。

和水町でもこれを契機に町、観光事業者、観光関係団体、そして住民のみなさんが連携・協力して、和水町の特徴を活かした魅力ある観光地づくりを目指していきたいと考えています。



▲江田船山古墳公園